

1 研究主題

対話を通して学びを深める児童の育成

2 主題設定について

昨年度は「対話を通して学びを深める授業づくり」を主題に掲げ、学校努力点に取り組んだ。「ICT の活用」と「対話」を両立させた実践を行ってきた。ICT を活用しながら互いの意見を共有することは概ねできたと考えるが、一方で、次のような課題が出てきた。

- 「共有」はできたが「対話」にはなっていない
- 「対話」をする上で ICT を活用しづらい場合もある
- 「天白小思考の言葉」をどう活用するのかが明確ではない
- 授業を参観する方の観点が定まっていない

これらの課題から、昨年度に引き続き「ナゴヤ学びのコンパス」を基に「対話」を中心とした、学びを深める児童の育成を目指して、学校努力点を進めることとする。

「共有」とは・・・様々な考えや思いを知ること

「対話」とは・・・共有をしてから、それを基に自分の考えを再構築すること

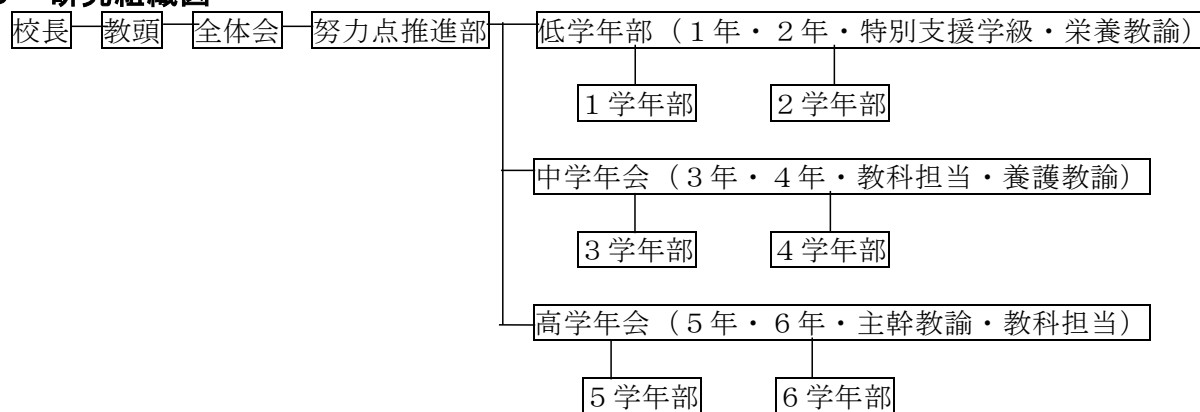
3 研究の方法

- (1) 各学年の実態に応じて、学年ごとに手立てを話し合う。
※ 学年で、実践の振り返りや検証（一人1授業実践）を行う。各実践の事後検討会は学年で行う。実践を見て、気付いたことを伝えたり、参観後に事後検討会に参加したりする。
- (2) 学年内の授業実践は、必ず参観するようにする。また、異なる部会の実践も、できるだけ多く参観するようにする。
- (3) 中間報告会、最終報告会で、授業の工夫や活動の内容を、学年ごとに話し合う。
- (4) 授業実践の際は、応接室に貼り出した年間計画を確認し、日程調整を正確にする。先生方の実践日ができるだけ同日にならないように調整する。

4 年間計画

月	日	曜	内 容	
4	2	水	努力点推進委員会	本年度の方針・計画の検討
	8	火	努力点全体会	本年度の方針・計画決定
	10	木	学年部会	各学年の年間計画の検討 前期・後期の授業実践の検討
	25	金	各学年授業実践計画提出日	
	適宜		学年部会	前期実践・授業の検討
5	適宜		学年部会	前期実践・授業の検討
6	適宜		学年部会	前期実践・授業の検討
9	適宜		学年部会	前期実践・授業の検討
10	9	木	中間報告会	前期の成果・課題と後期計画の検討
11	適宜		学年部会	後期実践・授業の検討
1	適宜		学年部会	後期実践・授業の検討
2	5	木	最終報告会	年間の成果・課題 次年度の方針検討
			学年部会	次年度に向けての方向の検討
	26	木	努力点推進委員会	次年度に向けての方針・計画の検討

5 研究組織図



6 その他

- 授業実践にあたって、努力点デザインシートを作成する。
- 実践日の1週間前までに校長先生にお伺いをたてる。
- 実践日の前日までに「努力点デザインシート」を記入して提出する。
- 実践日の前日までに「努力点報告書」「努力点実践の当日の写真・動画」を記入して共有ノートに準備する。
- 授業中に参観者が「努力点報告書」に追記する
- 授業中に参観者が「努力点実践の当日の写真・動画」に追記する。
- 授業後に実践者が「努力点報告書」を完成させる。
- 授業後に「努力点デザインシート」「努力点報告書」「努力点実践の当日の写真・動画」を提出する。

※詳しくは別紙参照。